

第4次岡谷市総合計画

2009～2018 基本構想

後期基本計画 2014～2018

みんなが元気に輝く

たくましいまち岡谷



鳥の連作 No.15 / 武井武雄

Okaya
City

美しいが、生まれるまち

岡谷

— OKAYA —

「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」

「みんなが元気に輝く」は、岡谷に住み働くすべての市民をはじめ、岡谷らしい独自の文化や教育、福祉など、岡谷のあらゆるものが輝くことをイメージしています。

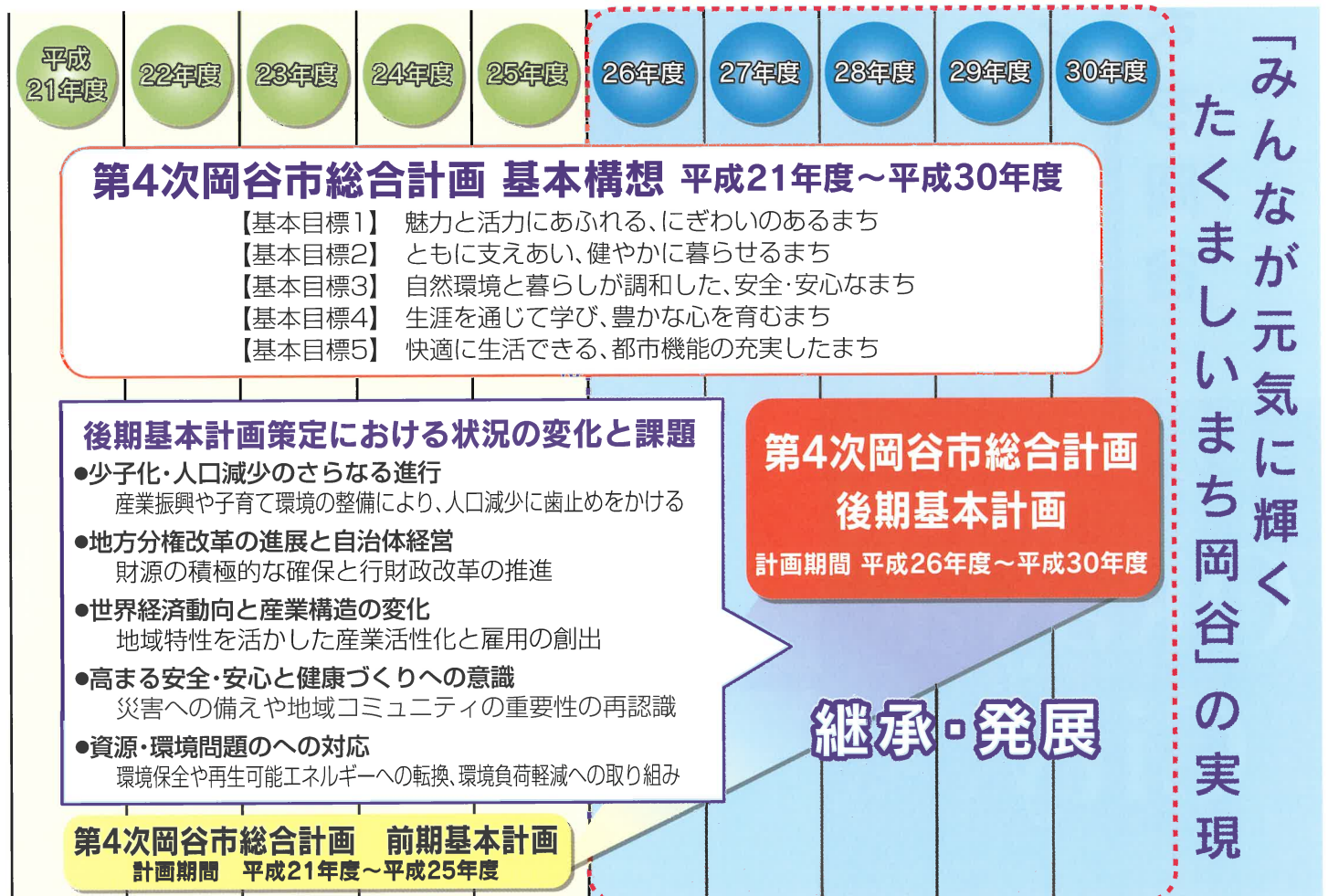
また、「みんなが元気に輝く」まちづくりを推進するためには、基幹産業である製造業を軸に各種産業の振興を図ることにより、まちの活力とにぎわいを創り出し、安定した財政基盤を確立することが重要です。

「たくましいまち」は、そうした産業の力強さに支えられた足腰の強い、安全で安心して、健康で生きがいを持って暮らせるまちをイメージしています。

後期基本計画の策定にあたって

第4次岡谷市総合計画は、平成21年度から平成30年度までの10年間を計画期間とし、「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」を将来都市像とする基本構想が、平成21年2月に議決されました。以降、5か年の前期基本計画に基づき、重点プロジェクトである「たくましい産業の創造」と「輝く子どもの育成」を柱に各種施策を展開し、成果をあげてきています。

後期基本計画の策定にあたっては、前期5か年の取り組みを踏まえ、この間の社会経済情勢の変化を的確に把握し、前期基本計画を継承・発展させることを基本として、将来都市像の具現化をめざす、後期5か年の計画として策定しました。



基本目標 1 魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち

1 基幹産業の振興

ものづくりの伝統を活かした製造業を中心に、工業の安定した経営の実現と創意工夫に満ちた意欲的な取り組みを支援します。

1-1 工業の振興

- (1) 企業立地の推進 (2) 工業活性化対策の推進
(3) 経営環境の充実 (4) 産業の連携・交流
(5) テクノプラザおかの活用

目標・指標 粗付加価値額

現状 946億円 → 目標 1,000億円

2 産業の振興

商業・サービス業をはじめ観光や農林漁業など、恵まれた自然や伝統を活かした産業振興を図ります。

2-1 商業の振興

- (1) にぎわいのあるまちづくり
(2) 商業環境の整備
(3) 商業者・関係団体の育成強化

目標・指標 商業会等会員数

現状 231店 → 目標 290店

2-2 サービス業の振興

- (1) 産業支援型サービス業の育成
(2) 生活支援型サービス業の育成
(3) 環境関連サービス業の育成

目標・指標 事業所数

現状 120事業所 → 目標 130事業所

2-3 観光の振興

- (1) 特色ある観光の推進
(2) 観光受け入れ体制の整備
(3) 岡谷ブランドの推進

目標・指標 観光客数

現状 463,300人 → 目標 470,000人

2-4 農林漁業の振興

- (1) 農業の振興
(2) 林業の振興
(3) 漁業の振興

目標・指標 遊休荒廃農地面積

現状 60.0ha → 目標 58.0ha

3 勤労者対策の推進

工業のまちを支える勤労者の福利厚生を充実し、若年労働力の確保と高齢者の活用、女性の雇用拡大を図ります。

3-1 勤労者福祉の充実

- (1) 勤労者の生活支援
(2) 勤労者の活動の充実

目標・指標 勤労者福祉施設の年間利用延べ人数

現状 28,565人 → 目標 29,000人

3-2 雇用対策の充実

- (1) 雇用対策の推進
(2) 労働環境の充実

目標・指標 新卒就業状況

現状 121人 → 目標 140人

基本目標 2 ともに支えあい、健やかに暮らせるまち

4 保健・医療の充実

健康づくりのため予防対策を推進し、母子保健の充実に努め、医療体制の充実を図ります。

4-1 健康づくりの推進

- (1) 市民が主役・市民参加の健康づくりの推進
(2) 一次予防の重視
(3) 健康づくりを支援する体制の強化

目標・指標 メタボリックシンドロームの該当者および予備群の割合

現状 男性41.4%・女性12.4%
→ 目標 男性31.0%・女性9.0%

4-2 予防対策の推進

- (1) 各種検診の推進
(2) 感染症対策の推進

目標・指標 がん検診の受診率

現状 16.1% → 目標 44.0%

4-3 母子保健の充実

- (1) 妊娠・出産に関する安全・安心への支援
(2) 子どもの健やかな発達の促進と育児不安の軽減
(3) 思春期からの保健対策の強化と健康教育の推進

目標・指標 乳幼児健康診査の受診率

目標 100%

4-4 医療体制の充実

- (1) 地域医療体制の推進
(2) 岡谷市病院事業の整備・充実
(3) 岡谷市看護専門学校の実施

5 子育て支援

育児と就労の両立支援を進め、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努め、おかの将来を担う輝く子どもを地域で見守り育てます。

5-1 子育て支援の充実

- (1) 地域とともに支える子育ての推進
(2) 子育て支援サービスの充実
(3) 子どもの育成支援
(4) 婚活に対する支援

目標・指標 子育て支援センターの延べ利用者数

現状 7,481人 → 目標 7,500人

6 福祉の充実

地域の支え合いにより、高齢者・障害者(児)福祉の推進を図り、社会保障制度の円滑な運営に努めます。

6-1 地域福祉の推進

- (1) 地域福祉の推進
(2) 健康福祉と憩いの拠点の充実
(3) 相談体制の充実

目標・指標 避難行動要支援者への支援体制づくり(個別計画)の作成率

現状 7.6% → 目標 90.0%

6-2 障害者(児)福祉の推進

- (1) 障害者支援の環境づくり
(2) 障害者福祉サービスの充実

目標・指標 福祉施設入所者の地域生活移行者数の割合

現状 27.1% → 目標 40.0%

6-3 高齢者福祉の推進

- (1) 高齢者の生きがいづくりの推進
(2) 介護保険事業の広域運営
(3) 要介護高齢者対策の充実

目標・指標 要介護認定率

現状 15.07% → 目標 16.00%

6-4 社会保障の円滑な運営

- (1) 国民健康保険事業
(2) 後期高齢者医療事業
(3) 福祉医療費の給付
(4) 自立支援と最低生活保障

目標・指標 国保被保険者特定健康診査の実施率

現状 33.5% → 目標 60.0%

基本目標 3 自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち

7 環境保全の推進

豊かな自然環境を保全し、自然と調和した生活環境対策の推進を図ります。

7-1 地球環境対策の推進

- (1) 地球温暖化の防止
- (2) 市民と進める地球環境の保全

目標・指標 緑のカーテン参加数
現状 658件 → 目標 720件

7-2 自然環境の保全

- (1) 地域の特性に応じた自然環境の保全
- (2) 自然とのふれあいの推進

目標・指標 子どもが参加する環境団体数
現状 6団体 → 目標 35団体

7-3 生活環境対策の推進

- (1) 総合的な生活環境保全対策の推進
- (2) 野外焼却・不法投棄の防止

目標・指標 水質調査河川のBOD最高値
現状 1mg/ℓ → 目標 1mg/ℓ以下

8 循環型社会の構築

3Rの推進により廃棄物の適正処理に努め、廃棄物処理施設の広域的な整備を推進します。

8-1 廃棄物対策の推進

- (1) 廃棄物の削減
- (2) 廃棄物適正処理の推進

目標・指標 可燃ごみ量の推移
現状 11,017t → 目標 10,022t

8-2 環境衛生対策の推進

- (1) 火葬場・霊園の維持管理
- (2) し尿処理施設の維持管理
- (3) 公衆浴場活性化の支援

9 安全・安心な暮らしの確保

危機・防災対策と生活安全対策を推進し、消防・救急体制の充実を図ります。

9-1 危機・防災・減災対策の推進

- (1) 危機管理対策の推進
- (2) 防災対策の推進
- (3) 減災対策の推進

目標・指標 住宅耐震診断累計件数
現状 574件 → 目標 930件

9-2 治山・治水事業の推進

- (1) 治山事業の促進
- (2) 治水事業の推進

目標・指標 市内の普通河川整備の延長
現状 24,677m → 目標 24,807m

9-3 生活安全対策の推進

- (1) 交通安全思想の普及
- (2) 防犯対策の推進
- (3) 空き家の安全対策
- (4) 消費者保護の推進
- (5) 食の安全

目標・指標 交通事故人身事故件数
現状 226件 → 目標 200件

9-4 消防・救急体制の充実

- (1) 諏訪広域消防本部の一元化
- (2) 消防団の充実
- (3) 消防力の強化
- (4) 火災予防の推進と防災意識の高揚

目標・指標 消防団員の充足率
現状 98.7% → 目標 100.0%

9-5 上下水道の整備・維持

- (1) 水道施設の整備・更新
- (2) 水質管理体制の強化
- (3) 危機管理体制の強化
- (4) 水道事業の円滑化
- (5) 諏訪湖流域下水道の整備促進
- (6) 公共下水道の整備および管理
- (7) 公共下水道事業の円滑化
- (8) 温泉の維持管理

目標・指標 水道水の水質基準適合率
現状 100.0% → 目標 100.0%

基本目標 4 生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち

10 生涯学習の推進

学校教育の充実を図り、青少年の健全育成を推進するとともに、生涯学習の充実に努めます。

10-1 学校教育の充実

- (1) 学習環境の整備
- (2) 教育施設などの整備
- (3) 児童・生徒の育成
- (4) 学校・家庭・地域との連携
- (5) 高等学校以上の教育

目標・指標 学校満足度(小学生)
現状 89.7% → 目標 93.0%

10-2 青少年の健全育成

- (1) 子育て土壌づくりの支援
- (2) 地域における健全な環境づくり
- (3) 青少年活動の推進

目標・指標 放課後居場所づくりの開催回数
現状 125回 → 目標 140回

10-3 社会教育の充実

- (1) 学習活動への参加促進と学習機会の充実
- (2) 生涯学習推進基盤の整備

目標・指標 生涯学習館、公民館の利用者数
現状 178,699人 → 目標 180,000人

11 文化・スポーツの振興

文化・芸術の振興と文化財の保護・活用に努めるとともに、スポーツの振興を図ります。

11-1 文化・芸術の振興

- (1) 文化施設の活用
- (2) 文化活動の促進支援

目標・指標 イルフ美術館入館者数
現状 25,462人 → 目標 28,400人

11-2 文化財の保護・活用

- (1) 文化財の調査・保存
- (2) 文化財の公開・活用
- (3) 史跡公園の管理・活用
- (4) 岡谷市史の編集

目標・指標 文化財公開施設入館者数
現状 2,608人 → 目標 2,850人

11-3 スポーツの振興

- (1) 市民ひとり1スポーツの実現
- (2) 競技力の向上
- (3) 子どものスポーツ機会の充実
- (4) スポーツによるまちづくり
- (5) スポーツ環境の整備・充実

目標・指標 スポーツ施設利用者数
現状 294,382人 → 目標 300,000人

12 国際理解の醸成

国際交流活動を推進し、さまざまな外国人との多文化共生社会をめざして国際化を推進します。

12-1 多文化共生の推進

- (1) 国際交流の推進
- (2) 国際理解の醸成

目標・指標 日本語講座の受講者数
現状 180人 → 目標 200人

基本目標 5 快適に生活できる、都市機能の充実したまち

13 計画的土地利用の推進

効率的かつ効果的な土地利用を進め、活力とにぎわいを生み出す市街地整備と宅地の整備に努めます。

13-1 計画的土地利用の推進

- (1) 土地利用の基本方向
- (2) 土地利用の規制・誘導

目標・指標 都市的土地利用の進捗状況

現状 888.5ha → 目標 904.7ha

13-2 まちの活力を高める市街地整備

- (1) 中心市街地への都市機能の誘導・集積
- (2) 湖畔地区の整備
- (3) 良好な市街地の形成

目標・指標 都市施設の整備状況

現状 214.8ha → 目標 220.0ha

13-3 住宅・宅地の整備

- (1) 宅地の整備
- (2) 住宅の整備
- (3) 住環境の整備

目標・指標 住環境の改善

現状 100件 → 目標 300件

14 交通網の整備

幹線道路や生活道路の整備を推進し、利便性の高い公共交通網をつくります。

14-1 道路の整備

- (1) 基幹道路の整備
- (2) 生活道路の整備

目標・指標 都市計画道路の改良率

現状 55.49% → 目標 58.30%

14-2 公共交通網の整備

- (1) 公共交通の整備

目標・指標 シルキーバス1便平均乗車人員

現状 6.1人 → 目標 6.4人

15 都市空間の充実

公園整備や都市緑化の推進に努め、良好な都市景観を創造します。

15-1 良好な都市景観の保存と創造

- (1) 都市景観の整備

目標・指標 良好な景観に資する建築物など

現状 14件 → 目標 35件

15-2 都市緑化の推進

- (1) 都市の緑の創出と保全
- (2) 協働による緑化推進

目標・指標 緑地面積

現状 9,570.3㎡ → 目標 10,384.9㎡

15-3 公園の整備

- (1) 計画的な公園緑地行政の推進
- (2) 公園緑地の整備・充実

目標・指標 市民1人当たりの公園面積

現状 12.18㎡/人 → 目標 14.00㎡/人

総合計画の推進に向けて

市民総参加のまちづくり

- (1) 市民参画の推進
- (2) 地域コミュニティの醸成
- (3) 男女共同参画の推進

目標・指標 市民参加による意見交換会などへの延べ参加者数

現状 230人 → 目標 400人

開かれた市政運営の推進

- (1) 情報公開・個人情報保護および情報セキュリティ対策
- (2) 広報広聴活動の充実
- (3) 情報化の推進と効果的利用

目標・指標 市民から寄せられた意見、問合せなどの件数

現状 284件 → 目標 350件

将来を見据えた行政経営の推進

- (1) 効率的・効果的な行政経営
- (2) 健全財政の保持
- (3) 財産管理の適正化

広域市町村との連携

- (1) 広域行政の推進
- (2) 市町村合併に向けて



■  市立 岡谷美術考古館

平成25年11月3日(日) 開館

新病院建設に伴い、中心市街地の民間商業施設を市が譲り受けて整備を行いました。まちなかの既存施設を改修し、新たな命を吹き込む手法は、全国にも誇れる先進的な取り組みであり、市民のみなさんの誇りとなる施設のひとつです。

高橋貞一郎、高橋靖夫、宮原麗子、野村千春、武井直也、辰野登恵子など岡谷市や郷土にゆかりの深い作家を中心に、洋画、日本画、版画、彫刻、書、工芸などの美術作品や、国の重要文化財に指定されている「顔面把手付深鉢形土器」をはじめ、数多くの出土品等を収蔵・展示しています。こうした歴史と芸術に触れていただく文化芸術の発信拠点であるとともに、まちなかの新たな交流拠点として、イルフ童画館やカルチャーセンター、絹工房などの近隣施設と連携を深めるほか、心を豊かにしてまちなかを巡っていただくことでまちのにぎわいを創出する「文化を核にしたまちづくり」に取り組んでまいります。

■ 岡谷市看護専門学校

平成26年4月1日(火) 開校

超高齢社会を迎え、介護の現場でも看護師の役割が大きくなり、多くの医療機関では看護師確保が一層困難となります。

こうしたなか、長野県から准看護師が看護師の資格を取得するための2年課程の看護専門学校の開設を要請されました。

検討の結果、塩嶺病院の建物を活用して開設する方針を平成24年3月に決定し、施設改修や教員の確保、実習受け入れなどについて、長野県、岡谷市病院事業、医師会、大学など、多くのみなさんのご協力をいただく中で、厚生労働省による設置認可(平成25年12月25日)と、県による専修学校の設置認可(平成26年1月17日)を得て、第1回生となる学生受け入れのための入学試験を実施し、平成26年4月に開校となります。人間尊重を基本理念とし、教養を高め豊かな感性と温かい心を養い、しなやかさとつよさを兼ね備え、誇りをもって看護ができる専門職業人を育ててまいります。



■ 新市立岡谷蚕糸博物館

平成26年8月1日(金) 開館予定

新病院建設に伴い、旧農業生物資源研究所に移転する新たな蚕糸博物館は、伝統的繰糸技術を継承する全国で唯一の製糸工場である宮坂製糸所が博物館内に移転し、「シルク岡谷」の歴史を感じさせる、繭の香り漂う館内で実際に生糸生産の様子を見学できるほか、旧農業生物資源研究所から譲り受けた貴重な機械類の動態展示など、他では真似できない世界唯一の博物館となります。

新しい蚕糸博物館は、単に博物館の展示機能を移転するだけでなく、養蚕や製糸業で育まれた本市の文化、歴史、先人の偉業を全国に発信する、新たなシルク文化を生み出す岡谷ブランドの拠点施設であるとともに、多くの観光客にも足を運んでいただける地域活性化に寄与する大変重要な施設となります。



■ 新消防庁舎

平成27年4月 開署予定

岡谷消防署は昭和62年旧市役所庁舎に移転しました。

移転以来、新消防庁舎建設について検討を重ねてまいりましたが、国内で頻発する大規模災害、更に将来的にも大震災が強く危惧される状況であることから、新消防庁舎の建設に取り組むことといたしました。

新庁舎は、地上3階建て、床面積2,655㎡で低コストで地震に強い「中間層免震構造」を採用し、岡谷消防署、岡谷市消防団、諏訪広域消防本部、高機能消防指令センターが配置され、堅牢で高度な消防機能を備えた庁舎となっています。

岡谷市新消防庁舎は、諏訪広域消防一元化により更に強固となる出動態勢を指揮する中枢施設として、岡谷市の目標とする「市民の生命と財産を守り、安全・安心な暮らしの確保」の実現に大きく資することとなります。



■ 岡谷市民病院

平成27年4月 建物完成予定

医療を取り巻く厳しい環境の中、将来も存続することができる公立病院をめざし、平成17年に策定した「岡谷市病院統合基本計画」に基づき、経営統合、施設集約など、市内の2つの公立病院の統合に取り組んでまいりました。

こうした状況の中で、平成22年度には、新病院建設を視野に入れた施設面での統合を図るため市民の皆様とともに「新病院建設基本構想」を策定し、新病院建設の検討を進めてまいりました。新病院は、何よりも安全で災

害に強い病院とするため、免震構造を採用した地上6階地下1階(一部地下2階)建てとし、床面積は約24,000㎡で現岡谷病院の1.4倍の規模となります。

市民の皆様生命、健康を守り、災害時には被災者の救護の拠点となる、市民生活の安全と安心を支えていく重要な施設として、平成27年4月の完成と、早期開院をめざして建設に取り組んでおります。

■ 諏訪湖周クリーンセンター

〔愛称〕ecoポッポ

平成28年9月 稼働予定

広域6市町村のごみ処理施設を1つに統合するとして諏訪広域連合ごみ処理計画の実現が困難であることから、諏訪湖周の岡谷市、諏訪市、下諏訪町の2市1町で平成16年度に「ごみ処理基本計画」を策定し、当面の間はごみ減量に取り組みながら、老朽化した2市1町のごみ処理施設統合を先行して進めることとし、新ごみ処理施設の建設場所を既存の岡谷市清掃工場の敷地内とすることとしました。

その後、2市1町が協議を重ねる中で、ごみの減量目標や施設の処理能力などについて、計画の見直しを行いました。

平成23年9月1日には、事業主体となる一部事務組合「湖周行政事務組合」を発足し、策定されていた計画に照らして施設の稼働時期、ごみ処理方式、処理能力、設計・建設・管理運営業務の発注方式などについて決定してまいりました。

平成28年9月の稼働をめざして、施設建設に向けた各種工事を進めております。



おかやの将来都市像

「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」

基幹産業である製造業を軸に各種産業の振興を図り、ふるさとを元気に。その活力と子育て支援によって人口を確保し、安定した財政基盤を確立。足腰の強い、健康で生きがいを持って、安全で安心して暮らせるまちの実現をめざします。

実現に向けて

目標の垣根を越えて取り組んでいく

重点プロジェクト

「たくましい産業の創造」と「輝く子どもの育成」を前期基本計画より継承。東日本大震災の教訓や保健医療の重要性などを踏まえ「安全・安心の伸展」を新たに加えました。

たくましい産業の創造

輝く子どもの育成

安全・安心の伸展

基本目標 1

魅力と活力にあふれる、
にぎわいのあるまち

基幹産業の振興
産業の振興
勤労者対策の推進

基本目標 2

ともに支えあい、
健やかに暮らせるまち

保健・医療の充実
子育て支援
福祉の充実

基本目標 3

自然環境と暮らしが調和
した、安全・安心なまち

環境保全の推進
循環型社会の構築
安全・安心な暮らしの確保

基本目標 4

生涯を通じて学び、
豊かな心を育むまち

生涯学習の推進
文化・スポーツの振興
国際理解の醸成

基本目標 5

快適に生活できる、
都市機能の充実したまち

計画的土地利用の推進
交通網の整備
都市空間の充実

推進に向けて

市民総参加のまちづくり

開かれた市政運営の推進

将来を見据えた行政経営の推進

広域市町村との連携

第4次岡谷市総合計画後期基本計画 概要版(平成26年4月)

発行：岡谷市 企画政策部 企画課

長野県岡谷市幸町8番1号 TEL.0266-23-4811 FAX.0266-24-0689

イラスト：武井武雄（1894～1983）

岡谷市出身の童画家 鳥をモチーフにした作品を数多く描く